

第 63 回 WIN 定例講演会・第 18 回人間情報学会講演会

『生きもの情報センシングとウェアラブルへの期待』

主催：特定非営利活動法人 ウェアラブル環境情報ネット推進機構

共催：人間情報学会

後援：情報処理学会 UBI 研究会

【企画趣旨】

従来、言葉によるコミュニケーションがとれない対象（動物や赤ちゃん）については、その状態を把握することが困難であったが、近年では計測機器の超小型化・高度化が進み、その詳細が明らかになりつつある。動物の行動は公衆衛生、あるいは資源政策の観点からも重要な情報となる。胎児、赤ちゃんの状態を正確に把握するための手法はリスクの高い産科・小児科の医療システムを改善する糸口にもなりうる。本講演では、赤ちゃんや動物の生体情報に関する第一線の研究者からのウェアラブルへの期待を述べる。

日 時：平成 26 年 9 月 9 日（火） 14:30～17:00

会 場：東京大学 山上会館 2 階 大会議室（東京都文京区本郷 7-3-1）

会 費：会員：1 万円、一般：1 万 5 千円、学校関係者：3 千円（資料代）

申込方法：事務局までメールにてお申込みください。（E-mail：admin@npowin.org）

人間情報学会ポスターセッション（時間：12:00～13:30 会場：山上会館 2 階大会議室内）

～ 講演会プログラム ～

司会 梅田 和昇 中央大学教授

14:30 - 15:10 基調講演 『遠隔医療におけるウェアラブルへの期待～胎児期から高齢期まで～』
原 量宏 香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授

15:10 - 15:40 講 演 1 『赤ちゃんの脳と心の発達～ウェアラブルセンシングへの期待～』
山口 真美 中央大学文学部 教授

＜休憩 10 分＞
15:50 - 16:20 講 演 2 『ウナギとマグロの不思議な旅路～その生態とバイオロギングの可能性～』
木村 伸吾 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

16:20 - 16:50 講 演 3 『家畜のウェアラブルセンシング技術』
伊藤 寿浩 独立行政法人産業総合研究所
集積マイクロシステム研究センター 副センター長

．．．．． 名刺交換会 ．．．．．

日 時：平成 26 年 9 月 9 日（火） 17:00～19:30

会 場：東京大学 山上会館 1 階 談話室

会 費：千円

- 1) 健康講話 『うつ病の最新治療法「TMS」』（ネイチャーアンタフェイス 61 号より）
--- 吉田 たかよし 医学博士・医師
- 2) WIN グループ活動報告 WIN 理事長 板生 清
- 3) 名刺交換・交流会（17:30～）